



平成30年度 仙北市立白岩小学校学校だより ～学校・家庭・地域をつなぐかけ橋として～

三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.35 —

平成31年2月5日発行

「雪国」だからできる“楽しみ”…



ほぼ毎日行う雪寄せ、せっかくの休日を利用して行う雪下ろし……雪国で暮らすのは大変です。時には、雪が災害をもたらすこともあります。しかし、「雪が多い」ということは、マイナス面だけではありません。豊富な雪解け水は稲作を盛んにしたり、水力発電を可能にしたり、地域の産業に恩恵を与えてくれます。「雪が多い」からこそできる楽しみもあります。前号で紹介した、オーストラリア国立大学生との雪像作りもその一つですが、先週は、保護者の方々や地域の方々のご協力のもと、雪国だからこそできる行事がいくつかありましたので紹介します。

子どもたちには、「雪が多い」ことのプラス面にも目を向けて、白岩や秋田をもっともっと好きになって欲しいと思っています。



「雪国」ならではのスポーツを楽しむ ～「スキー教室」開催～

1月30日（水）、たざわこスキー場で毎年恒例の全校スキー教室を行いました。前日までの雪も止み、絶好のスキー日和のもと、全校75名がスキーを楽しみました。

多くの保護者の方々が、指導者として参加してくださったおかげで少人数のグループで滑る

ことができ、スキー技術も向上したようです。保護者の方々には協力者としても参加していただきました。おかげでスキーの運搬や食事もスムーズに進めることができました。

本当にご協力ありがとうございました。



「雪国」ならではの行事を楽しむ ～「燈火祭」参加～

2月2日（土）、2002年から行われている地域の行事「燈火祭」に全校で参加しました。スキー教室のときと同様、降雪も風もなく、天候に恵まれ、子どもたちは、国際教養大の留学生の方々とひでこ節を踊ったり、城跡に登りかがり火を灯す役割や雲巖寺で鐘を鳴らす役割を

担ったりして、地域の方々と一緒に祭りを盛り上げました。火振りかまくらや雪上綱引きなど雪国ならではのイベントも楽しむことができました。プロジェクトSや保護者の皆さんのおかげで安全に楽しい時間が過ごすことができました。ありがとうございました。



力作ぞろいの七つの雪像,各賞が決定!

オーストラリア国立大学生と一緒に作った雪像に、教頭先生と一緒に考え各賞をつけました。どれも個性的で力作ぞろい。悩みに悩んでつけた賞です。

1班:チームワーク賞



雪像本体の周りに置いてあるものをみんなで協力して丁寧に作ってますね。

2班:カラフル賞



なんと言っても色がとっても鮮やかです。顔もかわいく作ってくれました。

3班:ベストオプション賞



付属で作った頭の上のミカンが素晴らしい。キバも立派に作ってくれました。

4班:キュート賞



ほっぺや口の赤色が鮮やかです。最もかわいいイノシシを作ってくれました。

5班:ベストリアル賞



頭や鼻の下の黒い毛が見事。イノシシらしいイノシシを作ってくれました。

6班:アイデア賞

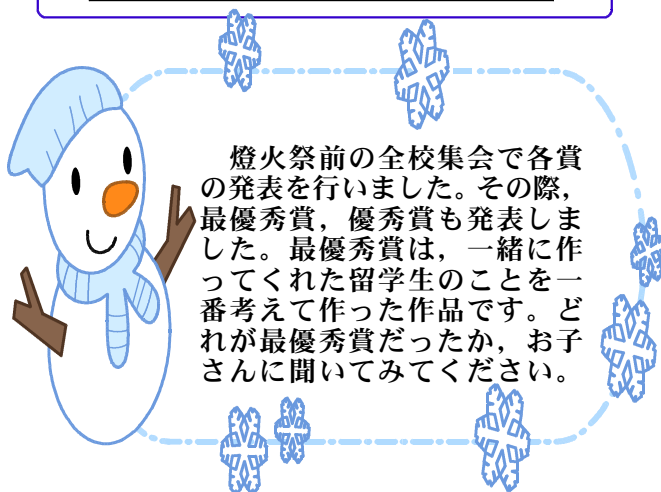


口の部分がかまくらになっているのが工夫されています。耳もかわいいです。

7班:ベストチョイス賞



留学生も知っているキャラクターを選んで、丁寧な仕上がりになってます。



燈火祭前の全校集会で各賞の発表を行いました。その際、最優秀賞、優秀賞も発表しました。最優秀賞は、一緒に作ってくれた留学生のことを一番考えて作った作品です。どれが最優秀賞だったか、お子さんに聞いてみてください。